

新作能 《大和椿》

小書 大和舞 作 泉 紀子



続く疫病、災害、戦いに国は荒れ、人は疲れ果てていた。

「歌うたう花を探せ」。帝の夢の中で妙なる声が告げた。

帝の命を受け、多くの臣下が都を出て歌うたう花を探す旅に出たが、花を見つけられずに多くの者が命を落としていった。

一人の臣下が、花を探し続けて百日目に、大和国の奥深い山中で、はるか昔よりこの山に住むという不思議な山人に出会った。

山人は、昔、吉野川に流れ来た美しい花が仙女に身を変え、歌をうたい、舞を舞いつつ奥山に飛び去ったとの伝説を物語り、臣下は吉野川に向かう...

